

事業報告書

(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)

1. 事業の概況

(1) 平成19年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立したもので、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。

第17期の平成19年度は、5つの公募助成プログラムにおける応募件数が合計2,300件と過去最高となる中で、非公募のその他助成を含めた総助成件数も設立15周年記念助成の影響で増加した昨年度をさらに23件上回る過去最高の281件、総助成金額は前年度比5百万円余増加して記念助成を行わない平年度としては過去最高の3億7千1百万円余となりました。

経理面では、サブプライムローン問題の影響で長期金利が低下しましたが、平成19年3月以降の住友各社からの追加出捐に伴う運用残高の増加により、助成事業の財源となる運用収益はネットで前年度並みを維持、助成金増はあったものの、当期一般正味財産は2千4百万円余増加し、期末残高は30億7千3百万円余となりました。

加えて住友各社より基金として6億1千7百万円余の寄附を受けましたので、指定正味財産も増加して180億4千7百万円余となり、当期末の正味財産残高は211億2千万円余となりました。

	<u>助成件数(前年度比)</u>	<u>助成金額 (前年度比)</u>
(イ) 基礎科学研究助成	114件(+9件)	140,000千円 (+10,000千円)
(ロ) 環境研究助成	65件(+9件)	100,000千円 (± 0千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	28件(+2件)	60,090千円 (+10,070千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	13件(+3件)	28,627千円余 (+ 8,465千円余)
(ホ) 15周年記念助成	0件(-7件)	0千円 (-20,478千円余)
(ヘ) アジア諸国における日本関連研究助成	58件(+8件)	40,262千円余 (- 6千円余)
(ト) その他助成	3件(-1件)	3,000千円 (- 2,500千円)
合 計	<u>281件(+23件)</u>	<u>371,979千円余(+ 5,550千円余)</u>

(2) 経理の状況

平成19年夏場以降、サブプライムローン問題の影響を受けて長期金利が再び低下し、運用環境は引き続き厳しいものがありました。このため当期中に行った債券の償還に伴う買い替えでは運用利回りの低下を余儀なくされましたが、住友各社からの寄附金により運用残高が増加したことから、運用収益(評価損益を除くネットベース)は5億円余と前年

度並みを維持しました。また、雑収益も加わって経常収益は5億1百万円余となりました。

一方、公募助成プログラムにおける過去最高の応募件数に応じて、助成金額合計は3億7千1百万円余と前年度に比べ5百万円余増加しました。しかし、助成金以外の事業費と管理費（債券の評価損・運用損を除く）は合計で1億3百万円余と前年度比2百万円余減少したことから、経常費用は4億7千6百万円余にとどまりました。この結果、当期経常増減額は2千4百万円余の増加となり、一般正味財産も同額増加して期末残高は30億7千3百万円余となりました。

また、平成19年3月に住友各社が平成23年9月末までの間に総額25億円の基金積み増しを決定し、そのうち6億1千7百万円余を指定正味財産として当期中に受け入れましたので、指定正味財産も増加して期末残高は180億4千7百万円余となり、一般正味財産と指定正味財産を合計した当期末の正味財産残高は211億2千万円余となりました。

（3）平成19年度の助成

平成19年3月6日開催の理事会・評議員会で決定・承認され、6月6日の理事会・評議員会で補正された事業計画に基づいて、以下の助成を行いました。

（イ）基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成19年4月16日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比105件増加の1,302件、助成申請金額で同2億5千7百万円余増の35億9千1百万円余の応募がありました。

下記の13名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに7月11日及び8月29日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、114件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	西島 和彦	東京大学・京都大学	名誉教授
選考委員	井上 佳久	大阪大学	教授
	榎 敏明	東京工業大学	教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学	教授
	川崎 雅司	東北大学	教授
	小山 勝二	京都大学	教授
	坂野 仁	東京大学	教授
	佐藤 文彦	京都大学	教授
	下山 勲	東京大学	教授
	樽茶 清悟	東京大学	教授
	濱田 博司	大阪大学	教授
	宮岡 洋一	東京大学	教授
	渡邊 公綱	産業技術総合研究所	生物情報解析研究センター長

選考委員会の選考結果に基づき、平成 19 年 10 月 26 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、114 件、助成金総額 1 億 4 千万円(前年度比、事業計画比共に 1 千万円増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 19 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

(口) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点(人文・社会科学分野、自然科学分野)からの研究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」(本年度募集課題:新たな政策提言に資する環境研究)について、平成 19 年 4 月 16 日～6 月末に公募したところ、応募件数で前年度比 33 件減の 624 件(内課題研究同 37 件減の 21 件)、助成申請金額で同 3 億 7 千 5 百万円余減の 19 億 1 千 4 百万円余(内課題研究 1 億 6 千 4 百万円余)の応募がありました。

下記の 7 名の先生に選考委員を、1 名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに 7 月 20 日及び 9 月 14 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、65 件(内課題研究 3 件)の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	安井 至	国際連合大学 副学長
選考委員	岩坂 泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構 特任教授
	植田 和弘	京都大学 教授
	及川 武久	筑波大学 名誉教授
	木村 真人	名古屋大学 教授
	花木 啓祐	東京大学 教授
	盛岡 通	大阪大学 教授
専門委員	高野 裕久	国立環境研究所 環境健康研究領域長

選考委員会の選考結果に基づき、平成 19 年 10 月 26 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、一般研究 62 件、課題研究 3 件、助成金総額 1 億円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 19 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

(ハ) 文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切にし、人類共通の財産である文化財を後世に継承するため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもので、平成 19 年 10～11 月に公募したところ、82 件（前年度比 4 件増）、助成申請金額で 2 億円余（同 2 千 1 百万円余増）の応募がありました。

下記の 3 名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成 19 年 12 月 27 日及び平成 20 年 1 月 29 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、28 件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	田邊三郎助	町田市立博物館 館長
	三輪 嘉六	九州国立博物館 館長
	渡邊 明義	平山郁夫シルクロード美術館 顧問

選考委員会の選考結果に基づき、平成 20 年 3 月 6 日開催の理事会・評議会において審議の結果、添付資料記載の 28 件、助成金総額 6 千万円余（前年度比 1 千万円余増、事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 20 年 3 月より行っております。

(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成

上記（ハ）と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財（美術工芸品及び遺跡）の維持・修復事業とその事前調査（維持・修復に直接つながるもの）を対象として助成しているもので、平成 19 年 10～11 月に公募したところ、14 カ国（文化の所在では 21 カ国）から 34 件（前年度比 2 件減）、助成申請金額で 1 億 1 千 1 百万円余（同 6 百万円余減）の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成 20 年 3 月 6 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の 13 件、助成金総額 2 千 8 百万円余（前年度比、事業計画比共に 8 百万円余増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 20 年 3 月より行っております。

(ホ) アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成 19 年 9～10 月に公募したところ、15 の国・地域から、258 件（前年度比 32 件減）、助成申請金額で 2 億 7 千 8 百万円余（同 4 千 1 百万円余減）の応募がありました。

下記の2名の先生に選考委員を、9名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成20年2月1日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、58件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	国分 良成	慶應義塾大学 教授
	白石 昌也	早稲田大学 教授
専門委員	伊藤 友美	神戸大学 准教授
	高橋 伸夫	慶應義塾大学 教授
	竹内 郁雄	東京農工大学 准教授
	長田 彰文	上智大学 教授
	中野 聡	一橋大学 教授
	松田 康博	防衛研究所 主任研究員
	丸川 知雄	東京大学 教授
	山本 信人	慶應義塾大学 教授
	吉村 真子	法政大学 教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成20年3月6日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の58件、助成金総額4千万円余(事業計画比微増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成20年3月より行っております。

(へ) その他助成

この助成プログラムは、理事会・評議員会の直接の決定により

- ①本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成
- ②緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成
- ③事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対する助成

等を行うもので、本年度は、平成19年3月6日及び平成19年6月6日開催の理事会・評議員会において、添付資料記載の3件、3百万円の助成対象を決定・承認しました。

助成金の交付は、助成決定後順次行いました。

2. 役員・評議員（平成20年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業	備考
会長 理事長 常務理事 理事	杉村 隆	国立がんセンター 名誉総長	新任
	住友吉左衛門	住友金属工業 技監	
	宮川 康雄	(常勤)	
	池端 雪浦	東京外国語大学 前学長	
	石 弘光	放送大学 学長	
	奥 正之	三井住友銀行 頭取	
	奥田 碩	トヨタ自動車 取締役相談役	
	勝俣 恒久	東京電力 社長	
	熊谷 信昭	兵庫県立大学 学長	
	小林庄一郎	関西電力 顧問	
	佐々木 元	日本電気 会長	
	高橋 温	住友信託銀行 会長	
	長尾 真	国立国会図書館 館長	
	西島 和彦	東京大学・京都大学 名誉教授	
監事	三浦 朱門	作家	新任
	吉川 弘之	産業技術総合研究所 理事長	
	森田松太郎	ARI研究所 理事長	
	横山 進一	住友生命保険 会長	
	渡邊 利夫	拓殖大学 学長	
	安部 正一	住友倉庫 社長	
	岡 素之	住友商事 会長	
	小川富太郎	住友ベークライト 社長	
	小田切康幸	住友大阪セメント 会長	
	神谷 不二	慶應義塾大学 名誉教授	
	茅 陽一	東京大学 名誉教授	
	グロリア・クラク	国際教養大学 副学長	
	古在 由秀	国立天文台 名誉教授	
	小林 俊一	秋田県立大学 理事長 兼 学長	
下妻 博	住友金属工業 会長		
評議員	竹市 雅俊	理化学研究所 発生・再生化学総合研究センター長	新任
	田丸 謙二	東京大学 名誉教授	
	中村 吉伸	住友重機械工業 社長	
	西原 春夫	早稲田大学 名誉教授	
	野依 良治	理化学研究所 理事長	
	平山 郁夫	日本美術院 理事長	
	藤本 勝司	日本板硝子 社長	
	梶田 和彦	住友軽金属工業 社長	
	山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授	

役員・評議員共に任期は平成19年7月1日～平成21年6月30日です。

期中の異動

平成 19 年 6 月 30 日 任期満了により退任

専務理事	石川 睦夫	
理事	宮崎 清文	
	吉野 泰生	
監事	高橋 温	(7 月 1 日 理事に就任)
評議員	植村 裕之	
	岡田 節人	
	高城申一郎	
	福島 孝一	
	松本 正義	
	宮原 賢次	
	矢野 龍	
	米倉 弘昌	

平成 19 年 7 月 1 日

新任（備考欄記載）の理事、監事、評議員就任

平成 19 年 7 月 2 日

理事の互選により会長、理事長、常務理事就任

平成 19 年 9 月 25 日

評議員退任 石川 忠雄（逝去）

3. 職員（平成 20 年 3 月 31 日現在）

職名	氏名	任用年月日	担当業務
事務局長	宮川 康雄	平成18年 6月 8日	全 般
総務部長	井上 耕一	平成19年 7月 1日	総務経理
企画部 助成担当部長	栗田口和久	平成17年 2月 1日	助成事業
〃	中山 達弥	平成11年 4月 1日	〃
〃	佐藤 清貴	平成17年11月 1日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年 3月21日	総務経理
企画部員	藤平 祐美	平成20年 3月10日	助成事業
顧問	石川 睦夫	平成19年 7月 1日	特命事項

期中の異動

総務部長	千種 信雄	平成 19 年 6 月 30 日退任
総務部長	井上 耕一	平成 19 年 7 月 1 日任用
企画部 助成担当部長	竹村 武志	平成 20 年 3 月 2 日退任
企画部員	藤平 祐美	平成 20 年 3 月 10 日任用
企画部員	和泉 佳子	平成 20 年 3 月 31 日退任
顧問	石川 睦夫	平成 19 年 7 月 1 日任用

4. 主要事業日誌

平成 19 年 4 月 16 日～6 月 30 日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

6 月 6 日 第 48 回評議員会

理事及び監事改選

平成 18 年度事業報告及び決算承認

平成 19 年度収支予算及び事業計画の補正承認

組織規程改定承認

「その他助成」助成先（2 件）承認

選考委員及び選考専門委員選任承認

6 月 6 日 第 55 回理事会

評議員改選

平成 18 年度事業報告及び決算承認

平成 19 年度収支予算及び事業計画の補正決定

組織規程改定決定

「その他助成」助成先（2 件）決定

選考委員及び選考専門委員選任

7 月 2 日 第 56 回理事会

会長、理事長及び常務理事互選

7 月 11 日 「基礎科学研究助成」 第 1 回選考委員会

7 月 20 日 「環境研究助成」 第 1 回選考委員会

8 月 29 日 「基礎科学研究助成」 第 2 回選考委員会

9 月 1 日～10 月 31 日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募

9 月 14 日 「環境研究助成」 第 2 回選考委員会

10 月 1 日～11 月 30 日 「文化財維持・修復事業助成」公募

「海外の文化財維持・修復事業助成」公募

10 月 26 日 第 49 回評議員会

平成 19 年度「基礎科学研究助成」助成先(114 件)承認

平成 19 年度「環境研究助成」助成先(65 件)承認

平成 20 年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ決定

選考委員選任承認

10 月 26 日 第 57 回理事会

平成 19 年度「基礎科学研究助成」助成先(114 件)決定

平成 19 年度「環境研究助成」助成先(65 件)決定

平成 20 年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ決定

選考委員選任

- 12月27日 「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」
第1回選考委員会
- 平成20年1月29日 「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」
第2回選考委員会
- 2月1日 「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会
- 3月6日 第50回評議員会
平成19年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(28件)承認
平成19年度「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(13件)
承認
平成19年度「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先
(58件)承認
平成20年度収支予算及び事業計画承認
平成20年度「その他助成」助成先(1件)承認
選考委員及び選考専門委員選任承認
- 3月6日 第58回理事会
平成19年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(28件)決定
平成19年度「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(13件)
決定
平成19年度「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先
(58件)決定
平成20年度収支予算及び事業計画決定
平成20年度「その他助成」助成先(1件)決定
選考委員及び選考専門委員選任